

ヒューマンタッチ総研 Monthly Report

令和2年8月

ヒューマンタッチ総研レポートでは、建設業に特化して人材関連の様々な情報、最新の雇用関連データを月に1回のペースで発信していきます。ご愛読いただければ幸いです。

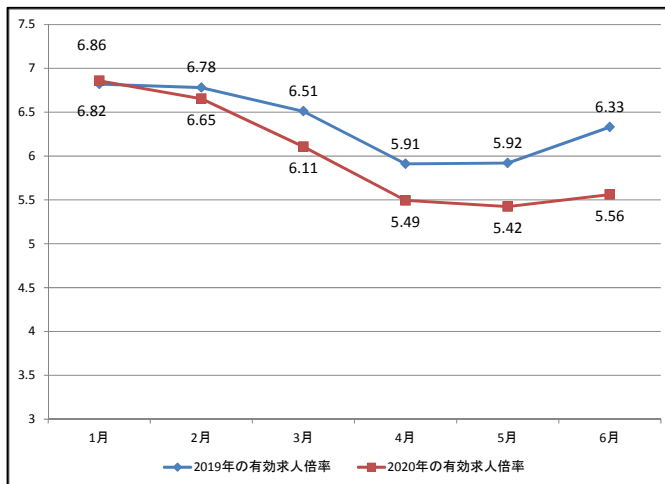
1 建設業界のトピックス

今回は、2020年上半期の建築・土木・測量技術者の需給動向についてまとめます。

■2020年上半期、有効求人倍率はすべての月で前年同月を下回り、建設技術者の需給は緩和傾向

2020年上半期の月別の建築・土木・測量技術者の有効求人倍率の推移について、前年と比較すると、2月以降は前年同月を下回っており低下幅は徐々に大きくなってきています(図表①)。今年6月の有効求人倍率は5.56倍となり、まだ高水準ではありますが建設技術者の需給は緩和傾向にあると言えます。

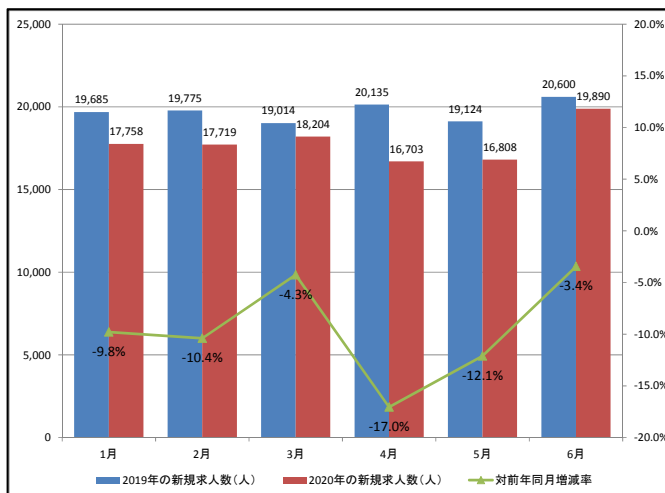
【図表① 建築・土木・測量技術者の有効求人倍率推移】



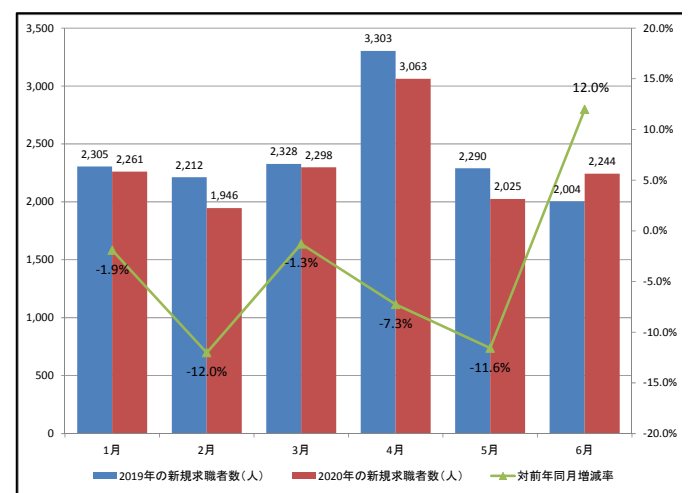
■新型コロナウイルス感染症拡大が建設技術者の需要に与えた影響は限定的

建設技術者の新規求人数の動向を見ると、東京オリンピック・パラリンピック関連の需要が一段落したこともあり、年初から新規求人数は減少していましたが、4月には新型コロナウイルス感染症拡大の影響が加わり、前年同月比17.0%減にまで落ち込みました。しかし、その後は急速に回復し、6月には新規求人数は同3.4%減にまで持ち直しており、感染症拡大の影響は限定的であったと思われます(図表②)。一方、長期間にわたって減少傾向が続いていた新規求職者数は、6月に前年同月比12%増と大幅な増加に転じました。今後、新型コロナウイルス感染症拡大が新規求職者数に与える影響も注視することが必要だと考えられます(図表③)。

【図表② 建築・土木・測量技術者の新規求人数の推移】



【図表③ 建築・土木・測量技術者の新規求職者数の推移】



出典：図表①②③ともに厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

2 2020年6月の建設業界の雇用関連データ(2020年7月31日公表)

(1)建設業の就業者数・雇業者数・新規求人数

◆建設業の就業者数は473万人(前年同月比93.8%)、雇業者数は388万人(同94.4%)となり、前年同月比で見るとともに3カ月連続の減少となった。

<建設業の就業者数と雇業者数の推移>

	2019年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月
建設業就業者数(万人)	504	495	508	502	494	513	488	459	503	512	491	486	473
前年同月比	98.2%	97.4%	98.3%	96.9%	99.4%	102.2%	101.2%	97.0%	101.4%	100.6%	97.6%	97.4%	93.8%
建設業雇業者数(万人)	411	408	417	412	407	420	403	380	411	415	401	401	388
前年同月比	97.9%	98.1%	100.0%	97.9%	96.7%	102.9%	103.1%	97.7%	102.8%	100.7%	96.2%	97.8%	94.4%

出典:総務省「労働力調査」より作成

◆公共職業安定所(以下:ハローワーク)における新規求人数は76,647人(同103.2%)と増加に転じた。

<建設業の新規求人数の推移(新規卒者とパートを除く)>

	2019年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月
新規求人数(人)	74,247	76,101	65,764	72,547	77,093	66,211	67,089	65,149	64,012	68,055	63,707	61,954	76,647
前年同月比	100.3%	108.0%	97.2%	100.3%	102.9%	94.9%	104.6%	88.1%	88.3%	94.3%	84.9%	90.0%	103.2%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(2)建設技術職の雇用動向

◆建設技術者数は34万人(前年同月比103.2%)と増加した。

<建設技術者数の推移>

	2019年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月
建設技術者数(万人)	33	34	33	36	31	36	38	35	42	41	38	30	34
前年同月比	100.0%	89.5%	86.8%	109.1%	103.3%	109.1%	108.6%	94.6%	123.5%	110.8%	100.0%	88.2%	103.0%

出典:総務省「労働力調査」より作成

◆ハローワークにおける建築・土木・測量技術者(常用・除くパート)の有効求人倍率は5カ月連続で低下し、前年同月よりも0.77ポイント低い5.56倍となった。低下傾向ではあるが、依然として高水準を保っている。

◆有効求人数は前年同月比89.7%、新規求人数は同96.6%となりともに6カ月連続で前年を下回り、建設業各社の求人意欲は低下傾向が続く。一方、有効求職者数は同102.1%となり増加に転じた。

◆有効求人倍率の先行指標となる新規求人倍率は前年同月比1.42ポイント低下して8.86倍となっており、建設技術者の需給は緩和傾向が続くようである。

◆充足率は前年同月比で0.3ポイント低下して3.8%となり、ハローワークで建設技術者を採用することが困難な状況は続いている。 *充足率=(就職件数/新規求人数)×100(%)

<ハローワークにおける建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	2019年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月
新規求人数(人)	20,600	20,772	18,980	19,807	21,633	18,984	19,685	17,758	17,719	18,204	16,703	16,808	19,890
有効求人数(人)	58,810	59,958	58,863	58,695	59,809	59,981	58,834	55,627	54,561	53,080	51,942	50,788	52,734
新規求職者数(人)	2,004	2,254	1,923	1,934	2,175	1,821	1,686	2,261	1,946	2,298	3,063	2,025	2,244
有効求職者数(人)	9,285	8,878	8,643	8,520	8,513	8,177	7,841	8,111	8,199	8,691	9,453	9,364	9,482
新規求人倍率	10.28	9.22	9.87	10.24	9.95	10.43	11.68	7.85	9.11	7.92	5.45	8.30	8.86
有効求人倍率	6.33	6.75	6.81	6.89	7.03	7.34	7.50	6.86	6.65	6.11	5.49	5.42	5.56
就職件数	854	798	741	774	802	742	662	549	638	851	720	615	758
充足率	4.1%	3.8%	3.9%	3.9%	3.7%	3.9%	3.4%	3.1%	3.6%	4.7%	4.3%	3.7%	3.8%

<ハローワークにおける建築・土木・測量技術者の雇用関連指標の対前年同月比(常用・除くパート)>

	2019年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月
新規求人数	101.7%	107.7%	100.6%	102.6%	102.5%	96.8%	108.7%	90.2%	89.6%	95.7%	83.0%	87.9%	96.6%
有効求人数	101.9%	103.7%	101.9%	103.3%	101.9%	101.2%	101.4%	98.2%	95.2%	91.6%	89.5%	88.1%	89.7%
新規求職者数	86.8%	101.7%	91.4%	99.5%	93.7%	89.1%	100.7%	98.1%	88.0%	98.7%	92.7%	88.4%	112.0%
有効求職者数	90.2%	93.0%	94.7%	96.0%	94.4%	93.6%	95.3%	97.6%	97.0%	97.6%	96.3%	96.2%	102.1%
新規求人倍率	1.51	0.52	0.91	0.31	0.86	0.83	0.87	-0.69	0.17	-0.25	-0.65	-0.05	-1.42
有効求人倍率	0.72	0.69	0.49	0.49	0.53	0.56	0.44	0.04	-0.13	-0.40	-0.42	-0.50	-0.77
就職件数	87.6%	91.4%	95.9%	95.7%	88.1%	91.7%	95.4%	81.2%	84.6%	90.8%	80.1%	68.7%	88.8%
充足率	-0.7%	-0.7%	-0.2%	-0.3%	-0.6%	-0.2%	-0.5%	-0.3%	-0.2%	-0.3%	-0.2%	-1.0%	-0.3%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(3)建設技能工の雇用動向

- ◆ハローワークにおける建設・採掘の職業(常用・除くパート)の有効求人倍率は、前年同月比0.17ポイント低下して5.26倍となり、4カ月連続で前年同月を下回った。
- ◆有効求人数は前年同月比96.7%となり6カ月連続で前年同月を下回ったが、新規求人数は同105.6%と増加に転じた。
- ◆有効求人倍率の先行指標となる新規求人倍率是对前年同月比0.22ポイント低下して7.51倍となっており、建設技能工の需給は緩和傾向が続くようである。
- ◆充足率は前年同月比0.2ポイント低下して6.9%となり、ハローワークで建設技能工を採用することが困難な状況は続いている。

<公共職業安定所(ハローワーク)における建設・採掘の職業の雇用関連指標の推移(常用・除くパート)>

	2019年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月
新規求人数(人)	38176	39,508	34,132	37,952	39,971	34,622	34,487	33,611	33,768	35,927	34,694	34,171	40,305
有効求人数(人)	111213	111,911	109,854	110,223	110,815	110,955	107,479	101,723	100,759	101,986	102,809	102,759	107,577
新規求職者数(人)	4939	5,074	4,443	4,666	4,723	4,222	4,029	5,401	4,595	5,382	6,047	4,655	5,365
有効求職者数(人)	20472	19,997	19,166	18,957	18,714	17,981	17,410	18,261	18,442	19,522	20,086	19,914	20,448
新規求人倍率	7.73	7.79	7.68	8.13	8.46	8.20	8.56	6.22	7.35	6.68	5.74	7.34	7.51
有効求人倍率	5.43	5.60	5.73	5.81	5.92	6.17	6.17	5.57	5.46	5.22	5.12	5.16	5.26
就職件数	2694	2,874	2,311	2,579	2,591	2,373	2,197	1,932	2,112	2,596	2,482	2,247	2,765
充足率	7.1%	7.3%	6.8%	6.8%	6.5%	6.9%	6.4%	5.7%	6.3%	7.2%	7.2%	6.6%	6.9%

<公共職業安定所(ハローワーク)における建設・採掘の職業の雇用関連指標の対前年同月比(常用・除くパート)>

	2019年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月
新規求人数	100.5%	107.6%	96.0%	101.3%	102.6%	96.3%	105.0%	87.2%	88.7%	95.8%	88.9%	95.3%	105.6%
有効求人数	101.0%	102.1%	101.5%	102.1%	100.4%	100.4%	101.5%	96.1%	92.9%	90.6%	90.9%	93.0%	96.7%
新規求職者数	88.8%	96.9%	81.2%	98.1%	88.0%	90.7%	97.2%	91.6%	87.5%	93.0%	93.4%	86.8%	108.6%
有効求職者数	90.2%	92.9%	91.0%	93.0%	91.0%	92.5%	94.7%	94.8%	92.9%	93.2%	92.6%	93.9%	99.9%
新規求人倍率	0.91	0.78	1.19	0.30	1.21	0.48	0.64	-0.32	0.10	0.20	-0.29	0.65	-0.22
有効求人倍率	0.58	0.51	0.59	0.51	0.55	0.48	0.41	0.08	0.00	-0.15	-0.09	-0.05	-0.17
就職件数	87.2%	98.3%	87.8%	100.0%	87.6%	86.9%	98.5%	90.6%	88.3%	91.3%	84.2%	78.0%	102.6%
充足率	-1.1%	-0.7%	-0.6%	-0.1%	-1.1%	-0.7%	-0.4%	0.2%	0.0%	-0.4%	-0.4%	-1.5%	-0.2%

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

3 2020年6月の雇用関連データのまとめ(2020年7月31日公表)

(1) 主要な雇用環境指標の推移

◆就業者数、雇用者数ともに3カ月連続で前年同月割れ

就業者数は6,670万人(前年同月比77万人減)、雇用者数は5,929万人(同94万人減)となり、ともに3カ月連続で前年同月を下回った。就業率3カ月連続で前年同月を下回り60.2%となった。

◆完全失業率は前月より0.1ポイント低下して2.8%

完全失業率(季節調整値)は前月より0.1ポイント低下して2.8%となった。完全失業者数は5カ月連続で増加して、前年同月比33万人増の195万人となった。

【主要雇用環境指標の推移】

	2019年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月
15歳以上人口(万人)	11,093	11,096	11,091	11,092	11,097	11,097	11,085	11,086	11,083	11,084	11,080	11,084	11,086
対前年同月増減(万人)	-17	-6	-7	-10	-7	-6	-8	-11	-5	-6	-9	-9	-7
労働力人口	6,909	6,888	6,908	6,936	6,951	6,913	6,883	6,846	6,850	6,876	6,817	6,854	6,865
対前年同月増減(万人)	54	56	56	59	63	36	68	53	38	15	-67	-44	-44
就業者数(万人)	6,747	6,731	6,751	6,768	6,787	6,762	6,737	6,687	6,691	6,700	6,628	6,656	6,670
対前年同月増減(万人)	60	71	69	53	62	53	81	59	35	13	-80	-76	-77
就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)	60.8%	60.7%	60.9%	61.0%	61.2%	60.9%	60.8%	60.3%	60.4%	60.4%	59.8%	60.1%	60.2%
対前年同月増減	0.6%	0.7%	0.7%	0.5%	0.6%	0.5%	0.8%	0.6%	0.3%	0.1%	-0.7%	-0.6%	-0.7%
雇用者数(万人)	6,023	6,034	6,025	6,017	6,046	6,046	6,043	6,017	6,026	6,009	5,923	5,920	5,929
対前年同月増減(万人)	83	81	72	51	50	63	80	64	64	61	-36	-73	-94
完全失業者数(万人)	162	156	157	168	164	151	145	159	159	176	189	198	195
対前年同月増減(万人)	-6	-16	-13	6	1	-17	-14	-7	3	2	13	33	33
完全失業率	2.3%	2.2%	2.2%	2.4%	2.4%	2.2%	2.2%	2.4%	2.4%	2.5%	2.6%	2.9%	2.8%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆先月に引き続き、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業で大幅に就業者数が減少

産業別に就業者数を見ると、宿泊業・飲食サービス業が前年同月比▲9.3%(38万人減)と最も大幅な減少率となり、次いで生活関連サービス業・娯楽業が同▲8.9%(22万人減)となった。コロナウイルス感染症拡大の影響で、前月に引き続いてこれら2つの業種で大幅に就業者数が減少している。

【主要産業別の就業者数・雇用者数】

		農業・林業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業 郵便業	卸売業 小売業	金融業 保険業
就業者	実数(万人)	215	473	1,059	230	348	1,022	166
	対前年同月増減数	-7	-31	-13	3	-14	-15	-3
	対前年同月増減率	-3.2%	-6.2%	-1.2%	1.3%	-3.9%	-1.4%	-1.8%
雇用者	実数(万人)	60	388	1,013	215	338	947	161
	対前年同月増減数	-4	-23	-8	1	-12	-24	-5
	対前年同月増減率	-6.3%	-5.6%	-0.8%	0.5%	-3.4%	-2.5%	-3.0%

		不動産業 物品賃貸業	学術研究 専門・技術 サービス業	宿泊業 飲食サービス 業	生活関連 サービス業 娯楽業	教育 学習支援業	医療・福祉	サービス業 (他に分類され ない)
就業者	実数(万人)	139	254	369	225	361	859	466
	対前年同月増減数	-2	14	-38	-22	20	8	16
	対前年同月増減率	-1.4%	5.8%	-9.3%	-8.9%	5.9%	0.9%	3.6%
雇用者	実数(万人)	121	195	320	173	330	826	411
	対前年同月増減数	-6	11	-35	-22	17	4	12
	対前年同月増減率	-4.7%	6.0%	-9.9%	-11.3%	5.4%	0.5%	3.0%

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆非正規の職員・従業員が4カ月連続で大幅に減少

雇用者数を正規、非正規別に見ると、正規の職員・従業員数は3,561万人(前年同月比30万人増)と増加に転じた。一方、非正規の職員・従業員数は前年同月比104万人減の2,044万人となり、4カ月連続で大幅な減少となった。

【雇用形態別雇用者数の推移】

	2019年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月
役員を除く雇用者数(万人)	5,679	5,699	5,688	5,683	5,721	5,712	5,698	5,665	5,688	5,656	5,582	5,580	5,605
正規の職員・従業員(万人)	3,531	3,526	3,497	3,481	3,526	3,526	3,518	3,516	3,530	3,506	3,563	3,534	3,561
構成比	62.2%	61.9%	61.5%	61.3%	61.6%	61.7%	61.7%	62.1%	62.1%	62.0%	63.8%	63.3%	63.5%
対前年同月増減(万人)	30	4	-18	-9	4	7	40	42	44	67	63	-1	30
非正規の職員・従業員(万人)	2,148	2,174	2,190	2,202	2,196	2,186	2,179	2,149	2,159	2,150	2,019	2,045	2,044
構成比	37.8%	38.1%	38.5%	38.7%	38.4%	38.3%	38.2%	37.9%	38.0%	38.0%	36.2%	36.6%	36.5%
対前年同月増減(万人)	46	71	82	59	40	44	23	-5	2	-26	-97	-61	-104

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆完全失業率が最も上昇したのは35歳～44歳の女性

年齢階級別・男女別に完全失業者数及び完全失業率を見ると、完全失業率が最も上昇したのは35歳～44歳の女性であり、前月比で0.4ポイント上昇して2.8%となった。

【年齢階級別・男女別完全失業者数・完全失業率】

年齢階級	完全失業者数 (万人)	対前年同月増減 (万人)	完全失業率 (季節調整値)	対前月増減 (ポイント)
総数	195	33	2.8%	-0.1%
(男)	117	20	3.1%	-0.1%
(女)	78	13	2.5%	0.0%
15歳～24歳	25	1	4.0%	-1.1%
(男)	15	3	5.1%	-0.9%
(女)	11	-1	3.3%	-0.9%
25歳～34歳	45	9	4.0%	0.1%
(男)	24	2	4.3%	-0.1%
(女)	21	7	3.8%	0.3%
35歳～44歳	39	8	2.8%	0.2%
(男)	23	5	2.9%	-0.1%
(女)	17	4	2.8%	0.4%
45歳～54歳	40	8	2.5%	0.4%
(男)	22	3	2.4%	0.3%
(女)	18	4	2.5%	0.3%
55歳～64歳	29	6	2.4%	-0.3%
(男)	20	5	3.0%	-0.2%
(女)	9	1	1.8%	-0.3%
65歳以上	17	2	1.8%	0.0%
(男)	14	3	-	-
(女)	3	-1	-	-

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

◆前月に引き続き、勤め先や事業の都合による離職が大幅に増加

完全失業者数を求職理由別に見ると、勤め先や事業の都合による離職が対前年同月比19万人増と、前月に引き続き大幅に増加した。

【求職理由別完全失業者数の推移】

	2019年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月
勤め先や事業の都合による離職(万人)	22	19	20	21	23	22	20	20	21	23	30	35	41
対前年同月増減(万人)	-1	-6	-3	0	3	0	0	-2	1	4	9	12	19
定年または雇用契約終了による離職(万人)	15	18	17	17	13	15	14	16	15	17	18	19	20
対前年同月増減(万人)	-5	0	-4	-3	-4	-2	-3	-1	1	1	-2	3	5
自発的な離職(自己都合)(万人)	66	70	73	73	73	63	62	69	69	71	71	73	72
対前年同月増減(万人)	-3	-2	0	-2	2	-12	-11	-3	3	-8	-4	5	6
新たに求職	43	35	32	40	40	35	37	37	39	46	52	54	50
対前年同月増減(万人)	4	-5	-6	5	1	-2	1	-3	1	6	13	14	7

出典:総務省統計局 労働力調査より作成

(2) 全体の有効求人倍率・新規求人倍率・正社員求人倍率の推移

◆有効求人倍率は6カ月連続で低下して1.11倍となる

ハローワークにおける有効求人倍率(季節調整値)は前月より0.09ポイント低下して1.11倍となった。6カ月連続の低下である。また、正社員の有効求人倍率も前月より0.06ポイント低下して0.84倍となっており、人材需給は緩やかになってきている。

【ハローワークにおける有効求人倍率(パートタイムを含む/季節調整値)の推移】

	2019年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月
有効求人倍率(倍)	1.61	1.59	1.59	1.57	1.57	1.57	1.57	1.49	1.45	1.39	1.32	1.20	1.11
新規求人倍率(倍)	2.36	2.34	2.45	2.28	2.44	2.32	2.43	2.04	2.22	2.26	1.85	1.88	1.72
正社員有効求人倍率(倍)	1.15	1.14	1.14	1.13	1.13	1.13	1.13	1.07	1.05	1.03	0.98	0.90	0.84

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(3) 職業別有効求人倍率の推移

◆ハローワークにおける専門的・技術的職業の有効求人倍率は前年同月より0.41ポイント低下して1.70倍となった。11カ月連続の低下であり、すべての専門的・技術的職種で前年同月割れとなった。

◆低下率が最も高かったのは前月に続いて医師・歯科医師・獣医師・薬剤師であり前年同月比1.28ポイント低下して3.23倍となった。次いでサービスの職業が同1.02ポイント低下して1.97倍、情報処理技術者が同0.88ポイント低下して1.55倍であった。

■最も有効求人倍率が高いのは建築・土木・測量技術者の5.56倍、次いで建設・採掘の職業の5.26倍となっており、建設業関連の専門職の人手不足が依然として深刻である。

【ハローワークにおける職業別有効求人倍率(除パート)の推移】

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月
職業計	1.37	1.40	1.41	1.42	1.43	1.46	1.51	1.40	1.34	1.25	1.12	1.02	0.98
専門的・技術的職業の有効求人倍率	2.11	2.18	2.21	2.23	2.25	2.33	2.45	2.32	2.21	2.06	1.83	1.73	1.70
開発技術者	2.40	2.36	2.40	2.41	2.27	2.36	2.40	2.29	2.23	2.13	1.98	1.92	1.89
建築・土木・測量技術者	6.33	6.75	6.81	6.89	7.03	7.34	7.50	6.86	6.65	6.11	5.49	5.42	5.56
情報処理技術者	2.43	2.44	2.45	2.46	2.41	2.42	2.47	2.30	2.17	2.08	1.87	1.66	1.55
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	4.51	4.47	4.43	4.45	4.46	4.66	4.90	4.76	4.51	4.40	3.81	3.55	3.23
保健師、助産師、看護師	2.31	2.32	2.35	2.36	2.47	2.63	2.85	2.69	2.60	2.45	2.18	2.12	2.12
医療技術者	2.94	3.05	3.18	3.12	3.17	3.27	3.42	3.20	3.10	2.91	2.53	2.32	2.29
その他の保健医療の職業	2.10	2.18	2.21	2.25	2.28	2.32	2.40	2.32	2.29	2.14	1.91	1.73	1.58
社会福祉専門の職業	3.01	3.22	3.32	3.42	3.43	3.58	3.92	3.73	3.36	3.08	2.73	2.72	2.79
美術家、デザイナー、写真家	0.39	0.40	0.40	0.39	0.39	0.39	0.39	0.37	0.36	0.32	0.26	0.21	0.20
事務的職業	0.43	0.45	0.45	0.46	0.47	0.47	0.48	0.47	0.46	0.43	0.36	0.32	0.31
販売の職業	1.99	2.00	2.01	2.02	2.02	2.08	2.15	2.06	2.11	2.03	1.79	1.55	1.47
サービスの職業	2.99	3.06	3.11	3.10	3.13	3.18	3.33	3.11	3.02	2.81	2.45	2.12	1.97
生産工程の職業	1.71	1.68	1.68	1.68	1.66	1.67	1.68	1.56	1.54	1.47	1.36	1.20	1.09
輸送・機械運転の職業	2.61	2.61	2.63	2.65	2.69	2.81	2.88	2.68	2.58	2.38	2.10	1.89	1.77
建設・採掘の職業	5.43	5.60	5.73	5.81	5.92	6.17	6.17	5.57	5.46	5.22	5.12	5.16	5.26

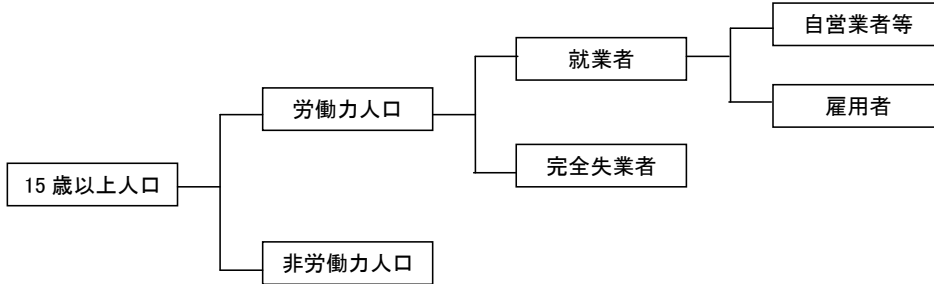
出典:厚生労働省:一般職業紹介状況より作成

【職業別有効求人倍率(除パート)の対前年同月比】

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月
職業計	0.01	0.00	-0.01	-0.02	-0.02	-0.03	-0.03	-0.11	-0.15	-0.18	-0.23	-0.31	-0.39
専門的・技術的職業	0.02	0.00	-0.01	-0.02	-0.04	-0.05	-0.05	-0.11	-0.14	-0.18	-0.21	-0.28	-0.41
開発技術者	-0.06	-0.22	-0.18	-0.14	-0.37	-0.40	-0.44	-0.39	-0.43	-0.41	-0.36	-0.36	-0.51
建築・土木・測量技術者	0.72	0.69	0.49	0.49	0.53	0.56	0.44	0.04	-0.13	-0.40	-0.42	-0.50	-0.77
情報処理技術者	-0.12	-0.13	-0.17	-0.13	-0.21	-0.22	-0.27	-0.35	-0.48	-0.49	-0.53	-0.70	-0.88
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	-1.24	-1.34	-1.26	-1.09	-1.01	-0.88	-0.94	-1.20	-1.53	-1.54	-1.05	-1.35	-1.28
保健師、助産師、看護師	-0.05	-0.09	-0.08	-0.10	-0.03	0.02	0.02	-0.07	-0.05	-0.08	-0.06	-0.09	-0.19
医療技術者	0.11	0.08	0.09	-0.03	0.03	0.06	0.09	-0.06	-0.19	-0.24	-0.29	-0.41	-0.65
その他の保健医療の職業	0.21	0.21	0.19	0.12	0.14	0.13	0.15	0.13	0.12	0.01	-0.08	-0.24	-0.52
社会福祉専門の職業	0.19	0.17	0.20	0.21	0.14	0.16	0.30	0.22	0.06	0.00	-0.03	-0.05	-0.22
美術家、デザイナー、写真家	-0.07	-0.07	-0.08	-0.08	-0.07	-0.07	-0.08	-0.09	-0.10	-0.11	-0.14	-0.16	-0.19
事務的職業	0.00	0.01	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	-0.02	-0.05	-0.05	-0.08	-0.11	-0.12
販売の職業	0.03	0.01	-0.03	-0.03	-0.03	-0.02	-0.02	-0.10	-0.02	-0.04	-0.17	-0.39	-0.52
サービスの職業	0.12	0.12	0.15	0.07	0.13	0.12	0.13	0.01	-0.01	-0.10	-0.38	-0.76	-1.02
生産工程の職業	-0.02	-0.09	-0.12	-0.15	-0.20	-0.23	-0.27	-0.34	-0.34	-0.32	-0.37	-0.49	-0.62
輸送・機械運転の職業	0.14	0.11	0.09	0.06	0.11	0.13	0.11	-0.06	-0.15	-0.28	-0.47	-0.63	-0.84
建設・採掘の職業	0.58	0.51	0.59	0.51	0.55	0.48	0.41	0.08	0.00	-0.15	-0.09	-0.05	-0.17

<用語解説>

1. 労働力人口・就業者・雇用者・完全失業者



* 労働力人口

15歳以上で働く意思と能力を持つ者。

* 非労働力人口

15歳以上で働く意思や能力のない者。

* 就業者

賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入(現物収入を含む。)になる仕事を少しでもした者。

* 完全失業者

仕事がなく仕事をしなかった者のうち、就業が可能でこれを希望し、かつ仕事を探していた者、および仕事があればすぐに就ける状態で過去に行った求職活動の結果を待っている者。

* 自営業者

株式会社等の法人を設立せずに自ら事業を行っている者。

* 雇用者

会社・団体・官公庁または自営業主や個人の家庭に雇われて給料・賃金を得ている者。

2. 就業率

「15歳以上の人口」に占める「就業者」の割合

3. 完全失業率

「労働力人口」に占める「完全失業者数」の割合

4. 有効求人倍率

有効求人数／有効求職者数(倍)

5. 新規求人倍率

新規求人数／新規求職者数(倍)

*「新規求人」とは、その月に受け付けた求人をいい、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人との合計を「有効求人」という。

6. 充足率

(就職件数／新規求人数) × 100 (%)